

ホタテガイ採苗速報

採苗器投入は西湾の早い所由来週、東湾で4月下旬～5月上旬

平成25年4月5日～10日に陸奥湾28定点で第2回湾内一斉ラーバ調査を、4月2日～9日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、4月5日～9日に東湾の2地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイラーバの出現数と大きさ

全湾におけるホタテガイラーバの出現数は図1、各地の出現数は表1、図2のとおりです。

ラーバの出現数は西湾平均で2,016個/トンと、前回(2,136個/トン)とほぼ同じですが、東湾平均では2,254個/トンと、前回(4,269個/トン)よりも減少しています。

200ミクロン以上のラーバの割合は西湾平均で8.7%、東湾平均で4.0%、260ミクロン以上の割合は西湾平均で0.1%、東湾平均で0%でした。

2 水温の状況

各ブイの4月4日～10日の平均水温は表2のとおりです。平年と比較すると、平館ブイ、青森ブイ、東湾ブイの15m層で平年並となっています。

表2 各ブイの1週間(4/4～4/10)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	8.0～8.4	東田沢ブイ	-	横浜ブイ	5.1～5.7
蓬田ブイ	7.3～7.6	清水川ブイ	-	浜奥内ブイ	-
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	-	川内ブイ	-
青森ブイ	7.1～7.5	東湾ブイ	4.8～5.5	脇野沢ブイ	4.7～5.4

-:欠測

3 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は西湾平均で16.0、東湾平均では18.2と、前回(それぞれ18.0、22.7)よりも低下しました(図3～5)。各地の測定結果は表3のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で14.5と、前回(19.6)よりも低下しました(図6)。各地の測定結果は表4のとおりです。

4 ムラサキイガイ等ラーバの出現状況

ムラサキイガイのラーバの出現数は全湾平均で104個/トンと、過去10年の同時期の平均値(107個/トン)とほぼ同じですが、キヌマトイガイのラーバの出現数は全湾平均で306個/トンと、過去10年の同時期の平均値(638個/トン)よりも少ない状況です。

ヒトデのラーバは全湾平均で0.7個/トンと過去10年の同時期の平均値(7.3個/トン)よりも少なく、付着直前のブラキオラリア幼生は見られませんでした。

5 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、久栗坂実験漁場、川内実験漁場、青森市水産指導センターの後潟沖のいずれも付着が見られませんでした(表5)。

6 今後の見込み

全湾的に小型のラーバが主体ですが、200ミクロン以上の大型のホタテガイラーバが徐々に増加してきています。

採苗器投入は西湾の早い所由来週、東湾で4月下旬から5月上旬になる見込みですので、今後の情報に十分注意してください。

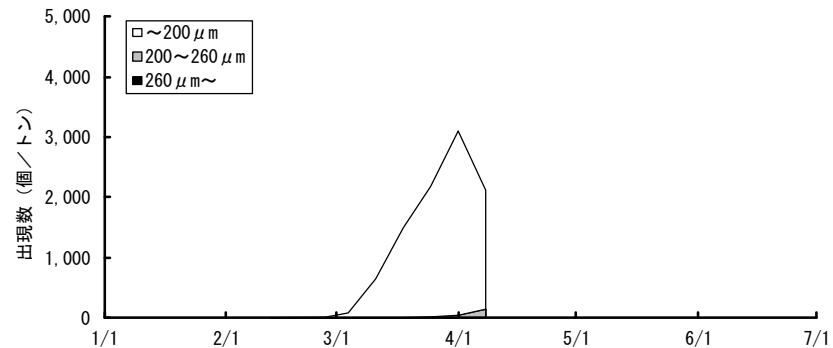


図1 全湾におけるホタテガイラーバ出現数

表1 地先別におけるホタテガイラーバの平均出現数

	全出現個数	200ミクロン以上		260ミクロン以上	
		個数	割合	個数	割合
平館	1,233	301	24.4%	0	0.0%
蟹田	2,765	109	4.0%	0	0.0%
蓬田村	816	33	4.0%	0	0.0%
後潟	672	71	10.6%	0	0.0%
奥内					
油川					
造道	3,002	513	17.1%	0	0.0%
原別					
久栗坂					
土屋					
茂浦	1,540	76	4.9%	0	0.0%
浦田	3,852	151	3.9%	0	0.0%
東田沢					
小湊	1,364	44	3.2%	0	0.0%
清水川	2,095	32	1.5%	0	0.0%
野辺地町	3,373	96	2.8%	0	0.0%
横浜町					
むつ市	3,977	284	7.1%	0	0.0%
川内町					
脇野沢	685	30	4.3%	0	0.0%
西湾中央	2,627	397	15.1%	9	0.3%
東湾中央					
西湾平均	2,016	176	8.7%	2	0.1%
東湾平均	2,254	91	4.0%	0	0.0%
全湾平均	2,118	140	6.6%	1	0.0%

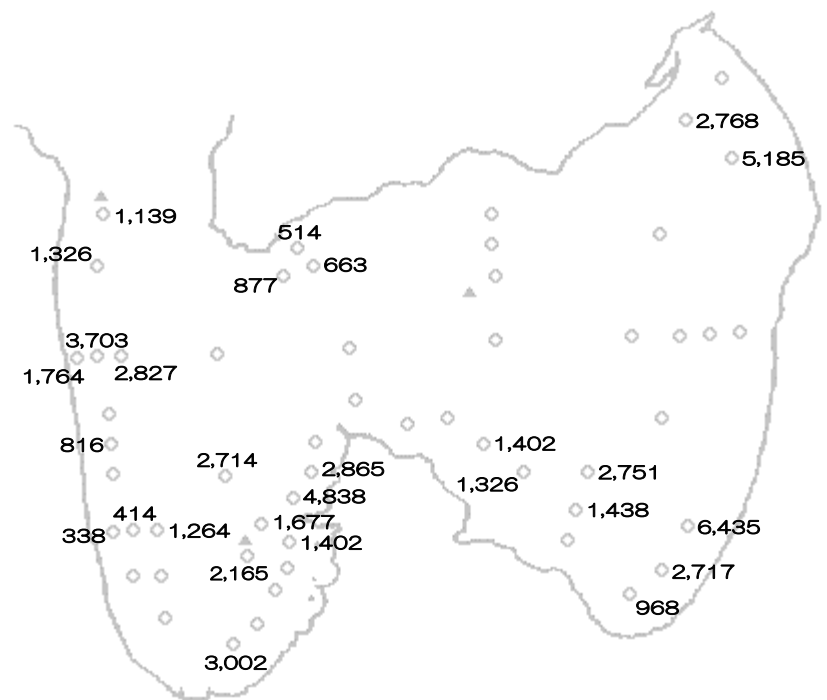


図2 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数

